

新聞の読み方講座を実施しました。(第2学年)

4月12日(月)と14日(水)の総合的な探究の時間に、朝日新聞社の平野氏と市川氏にお越しいただき、「新聞の読み方講座」を実施しました。両日とも1人1部、新聞を手に取り、その構成や読み方を学んだり、コラムの書き写しに取り組んだり、記事の要約や紹介をしました。生徒は普段、テレビやネットで情報を得ることが多いようですが、新聞とそれらのメディアの特徴、メリットやデメリット、さまざまな情報を比較することの大切さ、ネットの情報の真偽を見極めるのは受け取り手であるということを知り、情報の活用には注意が必要であることを改めて学ぶことができました。週末には投書用の原稿作成に挑戦します。生徒の投書が採用されるか楽しみです。



大府東高校で「新聞読み方講座」

新聞の読み方や活用方法を知ってもらおうと、県立大府東高校(大府市)で14日、朝日新聞社員による「新聞読み方講座」が開かれた。2年生計236人が参加。4人ずつのグループに分

かれて朝刊を読み、興味を持った記事を発表し合った。受講した長谷川心菜さん(16)は「見出しを読むだけでニュースが分かった。他の人の発表を聞き、自分の関心も広がった」。



向山陽大さん(16)は「あまり新聞を読んだことがなかったが、色んな記事があって面白い。また読みたい」。

講師の平野治・販売部員は「同じ記事でも感想は人それぞれ。多様な考え方があることを知ってほしい」と話した。

(佐藤瑞季)

令和3年4月15日(木) 朝日新聞 朝刊